

日本設備工業新聞

発行所
 (株)日本設備工業新聞社
 東京都渋谷区桜丘町10-13
 〒150-0031 野元第1ビル
 電話 (03) 3496-4774代
 FAX (03) 3464-1884
 info@setubikogyo.co.jp
 年額8,800円(税込送料込)



TOTO
 きれいな除菌水のチカラで、
 毎回手間なし除菌。
NEOREST
 詳細は弊社カタログ、HPをご覧ください。

東京湾水環境再生へ

多摩川河口域の改善計画で連携

国土交通省は十一月十七日、東京・霞が関の同省特別会議室で第一回「多摩川河口域における生物多様性環境検討会」(委員長・吉田丈人東京大学大学院総合文化研究科広域システム科学系准教授)を開催した。同省関東地方整備局と環境省関東地方環境事務所が緊密に連携し、汽水域の生物が確認されている多摩川河口域で生物多様性の保全・向上を図る実証試験に着手する。環境改善の成果は東京湾水環境再生計画などに適切に反映させていく考えだ。

生物多様性向上へ実証試験

多摩川河口域は二ホンウナギに代表される遡上魚や汽水域の生物などの生息ポテンシャルが高い場所となっている。とくに礫のある場所、水際に植生のある場所、堆積物



配管支持金具



株式会社アカネ
 本社 〒104-8251 東京都中央区新富1-19-2 ☎03-3552-7331(大代表)
 営業本部 ☎03-3552-7091(代 表)
 本社 東京・支店 営業所 全国主要都市

によって多様な成長段階の個体が隠れ場所として利用し、生息することが可能になると考えられている。たとえば礫浅場では岩礁に生息するカサゴ・メバルなどの生物生息が想定され、絶滅危惧種である二ホンウナギの生息環境の形成も期待されている。



このため国土交通省は東京湾水環境再生計画に基づき学識者やNPO法人などからなる同検討会を設置。生物多様性の保全・

向上につながる水環境の創造に向けて実証試験と適切な環境管理を行う。当日の初会合では高田昌行同省港湾局長が冒頭あいさつに立ち「浅場・藻場の形成は東京湾の水環境再生にきわめて効果だ。とくに多摩川河口域の浅場は多様な生物生息に高いポテンシャルを秘めており、浅場をつくることで絶滅危惧種の新たな生息の場となる可能性がある。この初の試みに

国交省検討会が環境省などを交えて初会合

に、ヒトデ、マゴチ、マハゼ、ボサゼ、穴子龍観察でテンジクダイ、マダコ、イシガキ、モエビ科、ユビナガスツエビ、アシナガスツエビなど多様な生物の生息が確認された。

地域コミュニティを強化

内閣官房 懇談会 水害対策で戦略的政策課題



クラシア東京ステーション会議室で第五十七回「ナショナル・レジリエンス(防災・減災)懇談会」(座長・藤井聡京都大学大学院工学研究科教授)を開き、小此木八郎内閣府特命担当大臣出席



りとおしていききたい」と述べ、活発な意見交換を促した。続いて内閣官房国土強靱化推進室、内閣府、文部科学省、消防庁などが戦略的政策課題について説明。重点的な取り組みとして災害ボランティアや防災リーダーを育成すること、災害予防、避難体制の整備、復興時のまちづくりなどに一致協力して取り組んでいく地域コミュニティを強化する。具体的には各地域

におけるコミュニティ強化事例を全国的に共有化する方針だ。水害対策については気候変動の激化で頻発する集中豪雨や大型台風などに適切に対処するため、従来の行政主導型ハード・ソフト対策では限界があると指摘。床上浸水などの再発防止に向けて住民主体の取り組みに転換していく必要があると強調している。

高効率を追求するテラル

テラルの新コンセプト「Triple e」による

キャビネット型加圧給水ポンプユニット



省スペース
 27%
27%ダウン
 (当社比)

- 静音
- 省電力
- 優れた施工性

●屋外設置可能 ●充実の標準装備 ●低振動 ●安心・安全機能

テラル株式会社 www.teral.net
 本社 / 〒720-0003 広島県福山市御幸町森脇230 TEL.084-955-1111 FAX.084-955-5777
 東京支社 / 〒112-0004 東京都文京区後楽2丁目3-27テラル後楽ビル6階
 東京・大阪など 全国9支店、47営業所